【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2010-172189(P2010-172189A)
【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)
【年通号数】公開・登録公報2010-031
【出願番号】特願2010-13035(P2010-13035)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｋ　1/18　(2006.01)
Ｈ０２Ｋ　3/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｋ　1/18　Ｃ
Ｈ０２Ｋ　3/04　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月26日(2012.12.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
リング型発電機のステータに関するステータセグメント（１００）において、
ベースエレメント（１０３）と、
前記ベースエレメント（１０３）に取付けられているコイルエレメント（１０１）とを有し、
前記ベースエレメント（１０３）は接続領域（１０４）を有し、
前記接続領域（１０４）は前記ステータセグメント（１００）を別のステータセグメント（１１０）に接続する接続コイルエレメント（１０２）の取付けに適合されていることを特徴とする、ステータセグメント。
【請求項２】
前記ベースエレメント（１０３）は前記コイルエレメント（１０１）が取り付けられる巻線スロット（１０５）を有する、請求項１記載のステータセグメント。
【請求項３】
前記接続領域（１０４）は前記接続コイルエレメント（１０２）の収容に適した接続スロット（１０６）を有する、請求項１または２記載のステータセグメント。
【請求項４】
前記接続領域（１０４）は複数の接続コイルエレメント（１０２）の収容に適した複数の接続スロット（１０６）を有する、請求項３記載のステータセグメント。
【請求項５】
前記ベースエレメント（１０３）は複数の接続領域（１０４）を有する、請求項１から４までのいずれか１項記載のステータセグメント。
【請求項６】
ステータ装置において、
請求項１から５までのいずれか１項記載のステータセグメント（１００）と、
接続コイルエレメント（１０２）とを有し、
前記接続コイルエレメント（１０２）は固定領域（２０１）および調整可能領域（２０２）を有し、

前記接続コイルエレメント（１０２）の前記固定領域（２０１）は前記ステータセグメント（１００）の前記接続領域（１０４）に固定されており、
前記調整可能領域（２０２）は、前記別のステータセグメント（１１０）の接続領域（１０４）に取付けられるよう、前記別のステータセグメント（１１０）の接続領域（１０４）について調整されていることを特徴とする、ステータ装置。
【請求項７】
さらに、複数の接続コイルエレメント（１０２）を有し、
前記複数の接続コイルエレメント（１０２）のそれぞれの固定領域（２０１）は前記ステータセグメント（１００）の前記接続領域（１０４）に固定されており、
前記複数の接続コイルエレメント（１０２）のそれぞれの調整可能領域（２０２）は、前記別のステータセグメント（１１０）の接続領域（１０４）に取付けられるよう、前記別のステータセグメント（１１０）の接続領域（１０４）について調整されている、請求項６記載のステータ装置。
【請求項８】
さらに、別のコイルエレメント（１０１）を有し、
コイルエレメント（１０１）および別のコイルエレメント（１０１）は、該コイルエレメント（１０１）と該別のコイルエレメント（１０１）とが重畳する重畳領域（２０３）が形成されるよう配置されている、請求項６または７記載のステータ装置。
【請求項９】
リング型発電機用のステータにおいて、
請求項６から８までのいずれか１項記載の少なくとも１つのステータ装置と、
請求項１から５までのいずれか１項記載のステータセグメント（１００）とを有し、
前記ステータ装置および前記ステータセグメント（１００）は、前記ステータ装置の接続領域（１０４）および該ステータセグメント（１００）の接続領域（１０４）に接続されている接続コイルエレメント（１０２）によって接続されていることを特徴とする、リング型発電機用のステータ。
【請求項１０】
リング型発電機のステータのステータセグメント（１００）の製造方法において、
コイルエレメント（１０１）をベースエレメント（１０３）に取付けるステップと、
前記ステータセグメント（１００）を別のステータセグメント（１１０）に接続する接続コイルエレメント（１０２）が取付け可能であるように、前記ベースエレメント（１０３）の接続領域（１０４）を成形するステップとを有することを特徴とする、ステータセグメント（１００）の製造方法。
【請求項１１】
さらに、
前記接続コイルエレメント（１０２）を該接続コイルエレメント（１０２）の固定領域（２０１）を用いて前記接続領域（１０４）に取付けるステップと、
前記別のステータセグメント（１１０）の接続領域（１０４）に前記接続コイルエレメント（１０２）の調整可能領域（２０２）が取付けられるよう、前記接続コイルエレメント（１０２）の前記調整可能領域（２０２）を前記別のステータセグメント（１１０）の接続領域（１０４）について調整するステップとを有する、請求項１０記載の方法。
【請求項１２】
前記接続コイルエレメント（１０２）の前記調整可能領域（２０２）を調整するステップは、
ダミー接続領域（３０２）が設けられているダミーセグメント（３０１）を前記ステータセグメント（１００）に取付けるステップと、
前記接続コイルエレメント（１０２）の前記調整可能領域（２０２）を、前記別のステータセグメント（１１０）の前記別の接続領域（１０４）の幾何学的な寸法と同じ幾何学的な寸法を有する前記ダミー接続領域（３０２）に取付けるステップと、
前記接続コイルエレメント（１０２）の前記調整可能領域（２０２）を前記ダミー接続

領域（３０２）について調整するステップとを有する、請求項１１記載の方法。
【請求項１３】
前記接続領域（１０４）を、前記接続コイルエレメント（１０２）の少なくとも一部と同じ幾何学的な寸法を有するツールエレメント（３０３）について調整する、請求項１０から１２までのいずれか１項記載の方法。
【請求項１４】
調整された前記接続コイルエレメント（１０２）を備えた前記ステータセグメント（１００）を含浸し、調整された前記接続コイルエレメント（１０２）の調整された形状を固定する、請求項１０から１３までのいずれか１項記載の方法。